

令和2年度

第3次宇和島市男女共同参画基本計画進捗状況調査結果

男女共同参画関連施策表

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進

- ①行政の審議会等への女性登用の推進 ※数値目標有り
- ②市女性職員の管理職への登用等の推進 ※数値目標有り
- ③企業・各種団体等における意思決定過程への女性の参画促進

推進方策2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保

- ①企業等における女性活躍推進に向けた取り組みの支援 ※数値目標有り
- ②農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進 ※数値目標有り
- ③再就職や起業活動等へのチャレンジ支援

推進方策3 地域社会における男女共同参画の確立

- ①地域活動における男女共同参画の推進 ※数値目標有り
- ②防災分野における女性の参画促進 ※数値目標有り

推進方策4 仕事と生活の調和(ライフ・ワーク・バランス)の推進

- ①多様で柔軟な働き方の普及・促進
- ②家庭生活における男女共同参画の推進

基本目標Ⅱ 全ての世代への男女共同参画意識の浸透

推進方策1 暴力を許さない社会づくり

- ①あらゆる暴力の防止
- ②相談体制と支援体制の充実

推進方策2 男女共同参画の視点に立った意識改革

- ①市民に広がりを持った広報・啓発活動の充実
- ②地域における男女平等意識の啓発

推進方策3 男女共同参画に関する教育・学習の推進

- ①男女共同参画の視点に立った家庭教育・学習の推進
- ②男女共同参画の視点に立った学校教育・生涯学習の推進
- ③国際交流の充実及び国際感覚の向上

基本目標Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり

推進方策1 生涯を通じた健康づくり支援

- ①市民の健康増進と健康への意識づくり ※数値目標有り
- ②男女の性差に応じた健康支援 ※数値目標有り

推進方策2 高齢、障がい、貧困等の困難を抱えた人たちが安心して生活できる環境の整備

- ①高齢者や障がい者等の社会参画の推進
- ②高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境の整備
- ③貧困等生活上の困難に直面する男女への支援

推進方策3 安心して子育てができる環境の整備

- ①安心して子どもを育てられる環境整備 ※数値目標有り

※数値目標は、次ページの「概要・各課施策関連事業」をご参照ください。

【概要・各課施策関連事業】

≪数値目標・第3次宇和島市男女共同参画基本計画冊子 P.45～P.46≫

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進

1. 行政の審議会等への女性の登用推進

(第3次宇和島市男女共同参画基本計画冊子 P.11～P.13)

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
審議会における女性の参画促進 (審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	22.5%	35%	23.3%	1
選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	38.5%	45%	—	2

2. 市女性職員の管理職への登用等の推進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
市女性職員の管理職への登用の推進	総務課	6.6%	10%	6.5%	3

推進方策2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保

1. 企業等における女性の活躍推進に向けた取り組みの支援

(第3次宇和島市男女共同参画基本計画冊子 P.14～P.20)

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
えひめ仕事と家庭の両立応援企業認証件数(市内事業所)	商工観光課	31件	45件	29件	4
ひめバス、イクボス宣言事業所数(市内事業所)	企画情報課	18件	20件	18件	5

2. 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
農業委員に占める女性の割合	農業委員会	8.3%	12.5%	8.3%	6
農地利用最適化推進委員に占める女性の割合	農業委員会	8.7%	13%	8.7%	7
認定農業者に占める女性の割合	農林課	13.8%	15%	13.1%	8
家族経営協定の締結数	農林課・ 農業委員会	100戸	115戸	103戸	9

推進方策3 地域社会における男女共同参画の確立

1. 地域活動における男女共同参画の推進

(第3次宇和島市男女共同参画基本計画冊子 P.21～P.24)

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
自治会長に占める女性の割合	市民課	4.7%	6%	4.5%	10

2. 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
消防団員に占める女性の割合	危機管理課	1.9%	3%	1.9%	11
防災会議委員に占める女性の割合	危機管理課	0%	10%	0%	12
防災士数(うち女性の防災士数)	危機管理課	764人 (171人)	800人 (160人)	816人 (215人)	13

基本目標Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)

推進方策1 生涯を通じた健康づくり支援

1. 市民の健康増進と健康への意識づくり

(第3次宇和島市男女共同参画基本計画冊子 P.38～P.39)

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
特定健康診査受診率	保険健康課	34.2%	60%	28.9%	15
がん検診受診率	保険健康課	5.9-12.8%	50%	5.4-12.1%	14
特定保健指導実施率	保険健康課	32.4%	60%	34.2%	16

2. 男女の性差に応じた健康支援

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
妊婦健康診査(公費負担)受診率	保険健康課	96.7%	100%	100%	17

推進方策3 安心して子育てが出来る環境の整備

1. 安心して子どもを育てられる環境整備

(第3次宇和島市男女共同参画基本計画冊子 P.42～P.45)

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H31)	目標値(R9)	実績(R2)	
市職員の育児休業等取得率の向上	総務課	男性0% 女性100%	男性15.0% 以上 女性100%	男性0% 女性100%	18
延長保育実施箇所数	福祉課	7箇所	10箇所	7箇所	19
休日保育実施箇所数	福祉課	1箇所	1箇所	1箇所	20
病児保育実施箇所数	福祉課	1箇所	2箇所	1箇所	21
学童保育実施箇所数	生涯学習課	11箇所	13箇所	11箇所	22
一時預かり実施箇所数	福祉課	9箇所	10箇所	10箇所	23
放課後子ども教室数	生涯学習課	13箇所	15箇所	13箇所	24
放課後子ども教室登録児童数	生涯学習課	325人	400人	358人	25
地域子育て支援拠点施設設置箇所数	福祉課	5箇所	8箇所	6箇所	26
ファミリー・サポート・センター利用会員登録者数	福祉課	398人	500人	429人	27

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	1 行政の審議会等への女性登用の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
審議会における女性の参画促進 (審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	22.5%	35%

事業の概要	
<p>第2次計画 第3次計画</p> <p>40% 30% 20% 10% 0%</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p> <p>20.6% 21.7% 22.5% 23.3% 35%</p>	<p>政策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、地方自治法180条の5に基づき設置する委員会(教育委員会、選挙管理委員会等)、202条の3または、要綱等に基づき設置する審議会・委員会等、政策又は方針の立案及び決定に際して意見を述べ、または審査、審議等を行なう各種審議会等への女性の登用を促進しようとするもの。</p>

令和2年度実績	
<p>【R2.4.1時点の女性の登用率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地方自治法第180条に5に基づき設置する委員会 3/6(女性のいる委員会/委員会総数)、7/64(女性委員数/総委員数)→女性比率10.9% ○地方自治法第202条の3に基づき設置する委員会等 32/40(女性のいる委員会数/委員会総数)、184/730(女性委員数/総委員数)→女性比率25.2% ○地方自治法第202条の3以外より設置する委員会等 11/22(女性のいる委員会/委員会総数)、48/228(女性委員数/総委員数)→女性比率21.1% 	決算額
	—
	実績値
	23.3%
	進捗状況
	3

事業に対する評価・課題等	
<p>各種団体の長が委員となっている場合が多いことから男性の割合が高く、登用が進んでいないのが現状である。他の自治体の取組事例(啓発活動等)を参考に、関係係局と連携の上、女性登用の促進を図っていく。</p>	

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

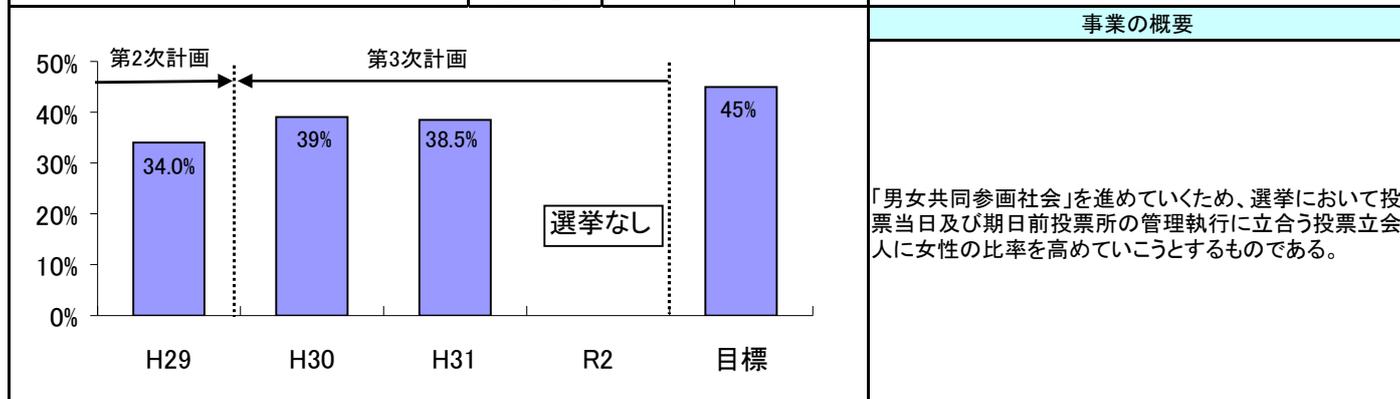
令和3年度予定	
<p>・宇和島市附属機関等の委員の選任等に関する指針(令和2年11月1日施行)において、『第4条(9)女性委員については、選任しようとする附属機関等において、宇和島市男女共同参画基本計画に掲げる「審議会・委員会等における女性の占める割合」の目標値以上となるように選任すること。ただし、特別の事情があると認められる場合は、この限りでない。』と委員選任時の留意事項が明記されたことから、来年度以降の登用率向上が見込まれる。</p> <p>・子育て世代の女性の登用促進に向け、宇和島市の臨時託児所設置事業の周知・普及を図る。</p>	予算額
	—
	目標値
	35%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	1 行政の審議会等への女性登用の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	38.5%	45%



事業の概要

「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙において投票当日及び期日前投票所の管理執行に立合う投票立会人に女性の比率を高めていこうとするものである。

令和2年度実績	
令和2年度に執行された選挙はなかったため、実績なし。	決算額
	-
	実績値
	-
	進捗状況
	-

事業に対する評価・課題等

実績なしのため、記載不可。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
令和3年度は「宇和島市長選挙・宇和島市議会議員選挙」「衆議院議員総選挙・最高裁判所国民審査」が執行される予定となっており、当該選挙時に女性の投票立会人の増員を目標とする。 ただし、当日投票における投票立会人は各自治会長から選任されることが多いが、自治会長は男性が多い(※1 男性:97.2%, 女性:2.8%)。また、各自治会への依頼以外の方法を実施するには投票立会人の人数が確実に集まる保証(裏付け)が取得できていないため、当日投票立会人における女性の増員は困難であると考えられる。 そのため、令和3年度は期日前投票での女性投票立会人の増員を促し、女性の参画を推進していくこととする。 ※1 R3年4月1日現在の全市データであり、市民課コミュニティ推進係から情報提供を受けたもの	予算額
	-
	目標値
	40%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	2 市女性職員の管理職への登用等の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
市女性職員の管理職への登用の推進(市の一般行政における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課	6.6%	10.0%

年度	割合
H29	6.0%
H30	5.9%
H31	6.6%
R2	6.5%
目標	10.0%

事業の概要

令和2年4月1日時点における一般行政職員(保育士、幼稚園教諭、病院局職員(事務職は除く。))及び派遣職員は除く。)の女性管理職(課長補佐級以上)の割合は6.4%であり、目標値の10%は達成できていない。
まず、係長級への女性職員登用を積極的に行うことで、将来的に管理職を担う人材の育成に努める。

令和2年度実績	
管理職124人のうち女性職員8人 6.5% <内訳: 部長10人(うち女性0人)、課長級39人(うち女性1人)、課長補佐級75人(うち女性7人)>	決算額
	-
	実績値
	6.5%
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等

目標値は達成していないが、令和3年度(R3.4.1現在)においては、7.9%に上昇している。今後も、係長級への女性職員登用も含め、より積極的な女性管理職の登用を進めていく方針である。
そのため、配属部署に性別による偏りが生じないよう配慮し、ジョブローテーションによる多様な職務経験を得ることができるように努める。また、キャリア形成について具体的なイメージを持てるように、研修への積極的な参加を促進する。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
管理職127人のうち女性職員10人 7.9% <内訳: 部長10人(うち女性0人)、課長級39人(うち女性1人)、課長補佐級78人(うち女性9人)>	予算額
	-
	目標値
	10.0%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1 企業等における女性の活躍推進に向けた取り組みの支援

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
えひめ仕事と家庭の両立応援企業認証件数(市内事業所)※名称移行	商工観光課	31件	45件
<p>第2次計画 ← 第3次計画</p> <p>H30からの事業のため H29データ無し</p> <p>H29: 31, H30: 31, R2: 29, 目標: 45</p>			
<p>事業の概要</p> <p>仕事と育児に加え、介護等の家庭生活が両立しやすい職場環境づくりに取り組む企業を県が認証し、社会的に評価される仕組みを作ることにより、働き方の見直しに向けた企業の自主的な取り組みの促進を図り、もって仕事と育児、介護等の家庭生活が両立しやすい職場環境づくりを、市内の企業等に促進する。 《平成31年4月1日制度改正により、「えひめ子育て応援企業」から移行》</p>			

令和2年度実績	
<p>県の取組に協力し、各施設にポスター等掲示。</p> <p>【業種別認証件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業……………1件 ・建設業……………8件 ・運輸業、郵便業……………2件 ・卸売業、小売業……………5件 ・金融業、保険業……………1件 ・宿泊業、飲食サービス業……………1件 ・生活関連サービス業、娯楽業……………1件 ・医療、福祉……………10件 	<p>決算額</p> <p>-</p> <p>実績値</p> <p>29件</p> <p>進捗状況</p> <p>2</p>

事業に対する評価・課題等
女性の雇用に積極的な企業が増えてきており、仕事と家庭の両立支援体制と整備する企業が認証を受けている。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
県からの求めに応じ、引き続き協力し、広報活動等を行っていく。	<p>予算額</p> <p>-</p> <p>目標値</p> <p>35件</p>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1 企業等における女性の活躍推進に向けた取り組みの支援

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
ひめボス、イクボス宣言事業所数(市内事業所)	企画情報課	18件	20件

事業の概要				
<p>第2次計画 ← 第3次計画</p> <p>H30からの事業のため H29データ無し</p> <p>20 10 0</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p> <p>12 18 18 20</p>	<p>「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフの仕事と生活の調和を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指します。その中でも、愛媛の活性化を願い、愛媛で働く人を応援する上司(経営者・管理職)のことを「ひめボス」と言います。</p>			

令和2年度実績	
令和3年9月30日現在(最新) 泉建設工業株式会社、宇和島ケーブルテレビ株式会社、社会福祉法人宇和島市社会福祉協議会、宇和島自動車株式会社、宇和島商工会議所、宇和島漬物食品株式会社、株式会社かどや、医療法人清岡眼科、有限会社菅原、津島町商工会、株式会社藤堂組、南レク株式会社、株式会社ひめ美じん、株式会社三間商事、三好造船株式会社、名門サカイ株式会社、山下クリニック、吉田三間商工会 ※前年度から変更なし。	決算額
	—
	実績値
	18件
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等
平成29年1月の制度開始から宣言事業所は増えているものの、制度自体の認知度が低いと感じられる。県内各市町の取組みを参考にし、市ホームページ、広報等にて、制度の理解を得て普及を図りたい。 【参考】県内892件(松山市457件、今治市66件、八幡浜市49件、新居浜市45件、西条市41件、大洲市70件、四国中央市30件、西予市27件、東温市23件、上島町1件、伊予市12件、久万高原町3件、松前町13件、砥部町9件、内子町17件、伊方町5件、松野町1件、鬼北町2件、愛南町3件)

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

令和3年度予定	
・市ホームページ等に制度概要等を掲載することにより、認知度を高める。 ※県との連携のうえ、市内の宣言事業所の紹介ページを作成する等、検討を行う。	予算額
	—
	目標値
	20件

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
農業委員に占める女性の割合	農業委員会	8.3%	12.5%
<p>第2次計画 第3次計画</p> <p>H30からの事業のため H29データ無し</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p>			
<p>事業の概要</p> <p>現在、宇和島市農業委員・農地利用最適化推進委員の定数は47名で、うち4名が女性委員となっている。平成28年4月1日に農地法改正が行われた事により、29年11月1日から農業委員24名(うち女性委員2名)、農地利用最適化推進委員23名(うち女性委員2名)合計47名の新体制が発足した。任期は3年であり、今後女性委員の減少が懸念されるが、現状の人数を確保するとともに引き続き増員を図りたい。</p>			

令和2年度実績	
<p>【R2.11.1現在の女性の登用率】</p> <p>○農業委員会等に関する法律第三条に基づき設置する委員会のうち、同法第八条により任命される農業委員について 2/24(女性農業委員/農業委員総数)→女性比率8.3%</p>	決算額
	-
	実績値
	8.3%
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等
令和2年11月に改選が行われ、女性委員の減少は避けられたが、増員はなく、現状を維持している。次回、令和5年11月の改選時には、現状の人数を確保するとともに、引き続き増員を図りたい。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

令和3年度予定	
令和3年度中に改選は行われなため、現状維持となる。	予算額
	-
	目標値
	8.3%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
農地利用最適化推進委員に占める女性の割合	農業委員会	8.7%	13.0%
<p>第2次計画 第3次計画</p> <p>H30からの事業のため H29データ無し</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p>			
事業の概要 <p>現在、宇和島市農業委員・農地利用最適化推進委員の定数は47名で、うち4名が女性委員となっている。平成28年4月1日に農地法改正が行われた事により、29年11月1日から農業委員24名(うち女性委員2名)、農地利用最適化推進委員23名(うち女性委員2名)合計47名の新体制が発足した。任期は3年であり、今後女性委員の減少が懸念されるが、現状の人数を確保するとともに引き続き増員を図りたい。</p>			

令和2年度実績	
【R2.11.1現在の女性の登用率】 ○農業委員会等に関する法律第三条に基づき設置する委員会のうち、同法第十七条により任命される農地利用最適化推進委員について 2/23(女性農地利用最適化推進委員/農地利用最適化推進委員総数)→女性比率8.7%	決算額
	-
	実績値
	8.7%
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等
令和2年11月に改選が行われ、女性委員の減少は避けられたが、増員はなく、現状を維持している。次回、令和5年11月の改選時には、現状の人数を確保するとともに、引き続き増員を図りたい。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

令和3年度予定	
令和3年度中に改選は行われなため、現状維持となる。	予算額
	-
	目標値
	8.7%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(H39)
認定農業者に占める女性の割合	農林課	13.8%	15.0%
<p>第2次計画 ← 第3次計画</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p> <p>H30からの事業のため H29データ無し</p>		事業の概要 農業経営改善計画を策定し、積極的に農業経営へ参画する女性の比率を高めていこうとするものである。	

令和2年度実績	
認定農業者数: 498人 うち女性: 65人(13.1%)	決算額
	-
	実績値
	13.1%
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等

人口減少及び高齢化に伴い認定農業者は減少の傾向にあり、女性の比率も若干下がった。今後も家族経営協定を活用した認定農業者の共同申請制度により女性の比率を高めたい。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
今後もあらゆる機会を通して、女性認定農業者の増加に向けて周知を図りたい。	予算額
	-
	目標値
	15.0%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(H39)
家族経営協定締結の支援	農林課・農業委員会	100戸	115戸

年度	締結数
H29	92
H30	99
H31	100
R2	103
目標	115

事業の概要

農家の家族関係を近代化し、農業後継者の確保や女性の地位向上を目指す。

令和2年度実績	
家族経営協定締結数: 103 家族 新規締結は、 3 家族	決算額
	-
	実績値
	103戸
	進捗状況
	3

事業に対する評価・課題等

経営面や生活面でのルールを文書化することで、妻や後継者も経営参画することができている。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
現在締結してる協定の見直しを図るとともに、今後も家族経営協定締結を推進していきたい。	予算額
	-
	目標値
	105戸

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	3 地域社会における男女共同参画の確立
施策の方向	1 地域活動における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
自治会長に占める女性の割合	市民課	4.7%	6.0%
<p>第2次計画 第3次計画</p> <p>8% 4% 0%</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p> <p>3.9% 3.9% 4.7% 4.5% 6%</p>			
<p>事業の概要</p> <p>地域における各種団体等において、女性の参加を促進し、方針決定の場においても女性が主体的に関わることの重要性を啓発し、自治会等コミュニティ組織活動に女性が感心を持ち、積極的に参画できるよう、多様な地域活動の情報や参画機会の提供を行います。</p>			
令和2年度実績			
R2.4.1現在 自治会長総数 506名 うち女性の自治会長 23名 割合 4.5%			決算額
			-
			実績値
			4.5%
			進捗状況
			2
事業に対する評価・課題等			
女性自治会長の割合は、昨年に比べて減っており、自治会の総数からみても決して多いとは言えない。 自治会長のなり手自体が不足し、自治会を解散したいという相談が年々増えてきているような状況の中で、女性の自治会長をどう増やしていくかが課題になる。			
男女共同参画の視点での評価			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			-
令和3年度予定			
R3.4.1現在 自治会長総数 506名 うち女性の自治会長 20名 割合 4.0%			予算額
			-
			目標値
			6.0%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	3 地域社会における男女共同参画の確立
施策の方向	2 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
消防団員に占める女性の割合	危機管理課	1.9%	3%

第2次計画 | 第3次計画

H30からの事業のため
H29データ無し

5% 4% 3% 2% 1% 0%

H29 H30 H31 R2 目標

事業の概要

消防、防災活動充実のための女性消防団員の増加促進を図るもの。

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度～令和3年度における女性消防団の増減 -2名 (令和3年4月1日現在 消防団員 2,027名のうち、女性消防団員 37名) (令和2年4月1日現在 消防団員 2,040名のうち、女性消防団員 39名) 救命救急訓練等を行うなど、後方支援活動に注力した。 	決算額
	—
	実績値
	1.9%
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等
今後も女性消防団員新規団員の加入促進を行い、男女双方の視点に十分配慮した消防、防災活動の充実を図る。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

令和3年度予定	
今後も女性消防団員新規団員の加入促進を行い、男女双方の視点に十分配慮した消防、防災活動の充実を図る。	予算額
	—
	目標値
	2.0%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	3 地域社会における男女共同参画の確立
施策の方向	2 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
防災会議委員に占める女性の割合	危機管理課	0%	10%

年度	割合
H29	4.0%
H30	4.0%
H31	0%
R2	0%
目標	10%

事業の概要

防災会議に女性委員を登用することにより、計画策定等に女性の意見を取り入れていくもの。

令和2年度実績	
女性の登用なし。 (条例で規定している委員構成の中に、新たな女性の役職者等がいなかったため。)	決算額
	-
	実績値
	0%
	進捗状況
	1

事業に対する評価・課題等

災害対策基本法をもとに、市の条例で規定した委員構成の中に各種組織等の役職者に女性が就かなければ変更は難しい。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	2
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
災害対策基本法をもとに、市の条例で委員構成について規定しているため、各種組織等の役職者に女性が就かなければ変更は難しい。	予算額
	-
	目標値
	4.0%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)
推進方策	3 地域社会における男女共同参画の確立
施策の方向	2 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
防災士数(うち女性防災士数)	危機管理課	764人 (171人)	800人 (160人)

年度	総数	女性数
H29	701	154
H30	764	171
H31	816	215
目標	800	160

事業の概要

男女がともに地域での防災活動へ参画できるよう女性防災士の育成を行い、女性の視点を生かした防災啓発活動を促進する。

令和2年度実績	
・平成31年度～令和2年度における女性防災士の増加 41名 (令和3年3月31日現在 防災士816名のうち、女性防災士215名) (令和2年3月31日現在 防災士764名のうち、女性防災士171名)	決算額
	-
	実績値
	816人 (215人)
	進捗状況
	5

事業に対する評価・課題等
防災士の養成状況は、概ね順調に推移しているが、資格取得後の活動支援やフォローアップ体制を整備する必要がある。あわせて、既に発足している防災士連絡会において、女性の視点を生かした防災啓発活動に関する体制づくりの取組を考えていきたい。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
目標値(R9)を達成したため、現状の維持と防災士100名(うち女性2割以上)を養成するなど更なる増加を目指したい。	予算額
	-
	目標値
	180人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	1 生涯を通じた健康づくり支援
施策の方向	1 市民の健康増進と健康への意識づくり

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(H39)
特定健康診査受診率	保険健康課	34.2%	60%

年度	受診率
H29	29.9%
H30	33.4%
H31	34.2%
R2	28.9%
目標	60%

事業の概要

「高齢者の医療の確保に関する法律」のもと、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防し、内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム)の該当者及び予備軍を減少させるための特定保健指導を要する者を的確に抽出するために行う。健康の基本は、健診であることかにより受診率向上に努める。

令和2年度実績	
特定健康診査 対象者 : 40歳～74歳の宇和島市国民健康保険加入者 実施方法 : 集団検診・個別健診 (後期高齢者健診・各種がん検診・肝炎ウイルス検診・健康増進法による健康診査同時実施) 実施期間 : 集団(6月～2月)個別(6月～2月) 受診実績 特定健康診査 4,654人(28.9%)	決算額
	55,557千円
	実績値
	28.9%
	進捗状況
	1

事業に対する評価・課題等

- ・国の目標である60%には届いておらず、引き続き受診率向上を図る必要がある。
- ・受診率が低下した要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により対象者の受診控えがみられたことが要因の一つと考える。
- ・より若い世代への健診受診の習慣化を図るため、若年者健診(19歳～39歳で他に健診の機会がない者)を継続して実施していく必要がある。
- ・当市においては、心疾患対策が課題であることから、特定健診受診者全員に心電図検査(無料)を実施することにより、ハイリスク者を早期に発見し医療につなぐ必要がある。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

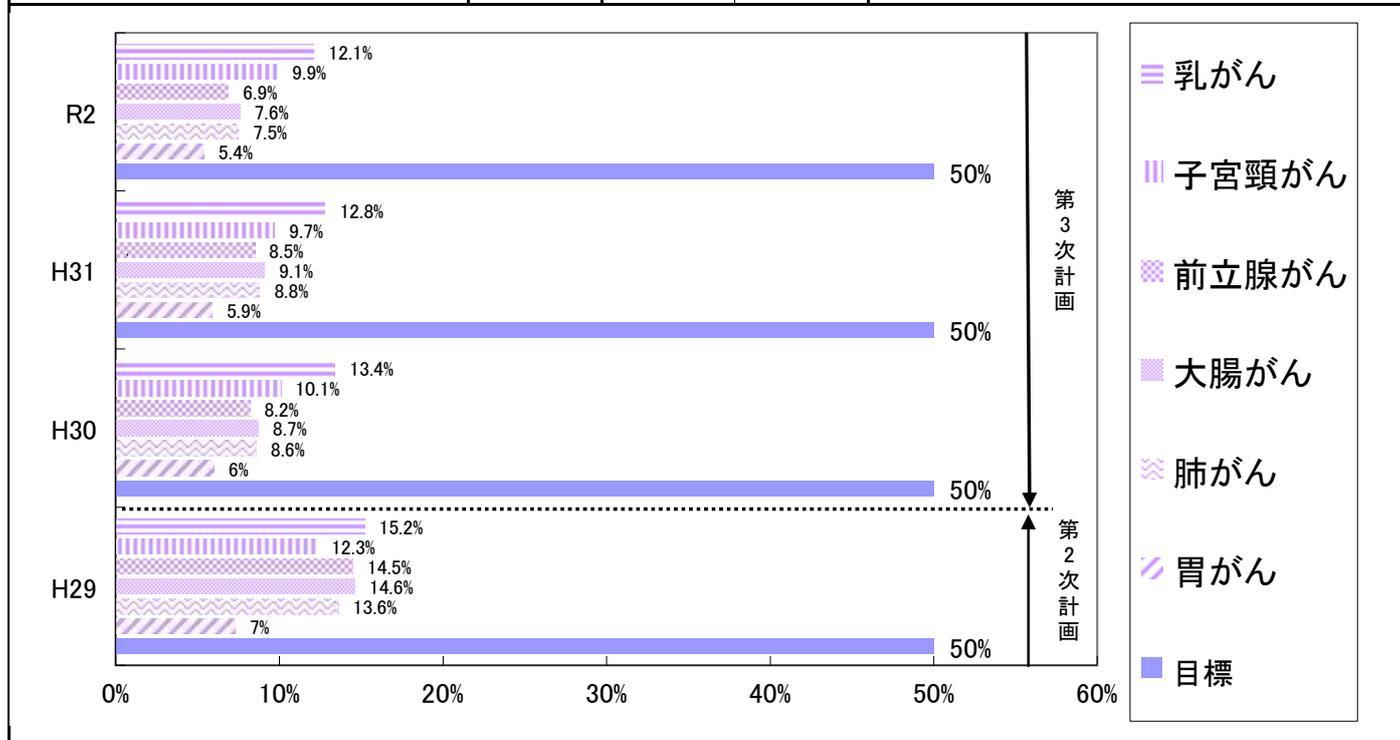
令和3年度予定	
・市民が利用しやすい健診会場の確保及び日程の設定 ・ICT予約システムを活用した予約しやすい環境整備を継続する ・AIを活用した個別はがきの送付、国保加入者への受診勧奨により受診率向上を図る	予算額
	75,721千円
	目標値
	60%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	1 生涯を通じた健康づくり支援
施策の方向	1 市民の健康増進と健康への意識づくり

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(H39)
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)受診率	保険健康課	5.9-12.8%	50.0%



事業の概要

・健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に当市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療をなくして死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の制度管理等の充実に努め受診率アップを図る。

【対象年齢とがん検診項目】

- ・20歳以上女性: 子宮がん検診
- ・30歳代女性: 乳房超音波検診
- ・40歳以上: 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(マンモグラフィ)
- ・50歳～60歳代女性: 子宮頸がん検診(経膈エコー検診)

【実施方法】

- ・集団検診: 胃がん(透視)・肺がん・肺がんCT・大腸がん・子宮頸・体がん・乳がん・乳エコー
- ・個別検診: 胃がん(透視、カメラ)・子宮頸がん

令和2年度実績

R2年度 がん検診実績 (愛媛県報告)	がん検診項目			決算額
	H30	H31	R2	
胃がん検診(透視)	6.0	5.9	5.4	62,594千円
肺がん検診(CR+CT)	8.6	8.8	7.5	
大腸がん検診	8.7	9.1	7.6	実績値
前立腺がん検診※(40歳以上)	8.2	8.5	6.9	5.4～12.1%
子宮頸がん検診	10.1	9.7	9.9	進捗状況
乳がん検診	13.4	12.8	12.1	2

事業に対する評価・課題等

- | | |
|--|---|
| <p>1) 受診しやすい検診体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末年齢20歳: 子宮頸がん、40歳: 肺がんCTを除くすべてのがん検診無料継続 ・子育て中が受診しやすい検診体制の整備(ボランティアの協力など) ・子宮頸がん・子宮体がんセット検診の実施 | <p>2) 受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診勧奨時にがん検診も勧奨し受診率の向上に努めた ・要精密検査者の受診勧奨を電話・訪問でタイムリーに行った |
|--|---|

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5
令和3年度予定	
・受診しやすい健診体制の継続 ・要精密検査者の受診勧奨の継続	予算額
	80,680千円
	目標値
	50%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	1 生涯を通じた健康づくり支援
施策の方向	1 市民の健康増進と健康への意識づくり

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
特定保健指導実施率	保険健康課	32%	60%

事業の概要	
<p>第2次計画 第3次計画</p> <p>60% 30% 0%</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p> <p>29.6% 33.4% 32.0% 34.2% 60%</p>	<p>内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。</p> <p>特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。</p>

令和2年度実績	
特定保健指導 (R2年度法定報告確定値 R3.11.2) 実施率(終了率):34.2% ・積極的支援 当該年度対象者 181人 実績:利用者数 60人(33.1%)、終了者数 45人(24.9%) ・動機づけ支援 当該年度対象者 491人 実績:利用者数 182人(37.1%)、終了者数 185人(37.7%)	決算額
	646千円
	実績値
	34.2%
	進捗状況
	3

事業に対する評価・課題等	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大防止対策として、オンライン特保を開始。 ・特定保健指導利用者に対し、自らが腹囲の変化を確認できるようにメジャーを配布。 	

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

令和3年度予定	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診会場における初回面接の分割実施の会場数を拡大。(R2:3会場→R3:23会場) →健診終了後、特定保健指導対象見込み者に対して初回指導を行い、その後の指導につなぎ、特定保健指導実施者の拡大を図る。 ・フィットネスジムと連携した保健指導を実施。 ・タブレット教材を活用した保健指導を実施。 	予算額
	2,903千円
	目標値
	60%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	1 生涯を通じた健康づくり支援
施策の方向	2 男女の性差に応じた健康支援

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
妊婦健康診査(公費負担)受診率	保険健康課	96.7%	100%

第2次計画 ← 第3次計画

100%
50%
0%

H29 H30 H31 R2 目標

事業の概要

母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。

令和2年度実績			
<p>(対象)宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦</p> <p>1 交付</p> <p>場所: 宇和島市子育て世代包括支援センターマザーズステーション「すてっぷ」</p> <p>内容: 母子健康手帳・妊婦一般健康診査(計14回分)他受診票交付、保健・栄養相談、妊婦アンケートの実施、母子保健・福祉事業の紹介、セルフプラン作成</p> <p>母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明</p> <p>従事者: 助産師・保健師・管理栄養士</p> <p>2 健康診査(委託)</p> <p>・愛媛県医師会、県内助産院(マミー助産院、まつやま助産院、マザーズサロン重信)に委託</p> <p>・A券5回 B券9回 計14回の受診券にて健診実施</p>			
①交付数・フォロー実施数			決算額
交付実人数	(再掲)		26,060千円
	初産婦	未入籍 要フォロー	
332人	140人	29人 56人	実績値
	37.1%	14.9% 16.9%	100%
②妊婦の食事状況(妊婦アンケート・転入含む)			進捗状況
欠食率 29.5%			
③妊婦一般健診結果異常のある者			5
高血圧・蛋白尿	血糖異常	貧血	
30人	53人	198人	

事業に対する評価・課題等

・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師・助産師が関わることで、アンケートや面接によりハイリスク妊婦の把握を行い、虐待予防の視点から必要な支援へとつないでいる。妊婦一般健康診査時医療機関で要指導となった妊婦については、受診票の結果より、貧血、高血糖等の問題がある妊婦について、保健師・管理栄養士が事後指導を行っている。また、妊婦一般健康診査受診時の情報から医療機関が特に支援が必要と判断した妊婦については「要支援妊婦連絡票」により「すてっぷ」に連絡があり、妊娠中から産後まで必要な支援を行っている。

・母子健康手帳交付時、「セルフプラン」を立て、妊娠・出産・育児についてどのように過ごしていきたいか、夫婦・家族で共有し、思い描く機会としている。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

令和3年度予定	
・妊娠期から子育て期までの相談窓口であるマザーズステーション「すてっぷ」(子育て世代包括支援センター)において妊婦一般健康診査受診票を交付し、健康管理への動機づけを行っている。家庭環境、成育歴、疾病、障害など複雑な背景を抱える妊婦が増えており、夫婦・家族が健康に安心して妊娠・出産・育児ができるようハイリスクについては支援プランを立案し、「すてっぷ」、地区担当保健師、福祉課婦人相談員・医療機関等が連携して切れ目のない支援を行う。	予算額
・健診結果異常のあった妊婦に対し、妊娠中の食生活について正しい情報を提供し、妊婦と家族の食生活の見直せるよう支援強化しているが、全例に実施を目指す。	31,000千円
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
市職員の育児休業取得率の向上	総務課	男性0% 女性100%	男性15%以上 女性100%

事業の概要				
<p>市職員が育児休業を取得しやすい職場環境を整えるとともに、男性職員の取得率が低い育児休業について制度の有効活用が図られるよう、啓発を促進する。</p>				

平成31年度実績	
○令和2年度中に新たに育児休業が取得可能になった職員数と取得実績 対象者 男性 8人、女性 4人 取得者 男性 0人(0%)、女性 4人(100%)	決算額
	-
	実績値
	男性0% 女性100%
	進捗状況
	1

事業に対する評価・課題等

平成31年度に引き続き、令和2年度についても、男性の育児休業取得者が皆無という結果となった。今後、柔軟な育児休業の取得ができるよう育児休業制度の改正も予定されていることから、職員や所属長に制度の周知を行うことで、取得しやすい職場環境づくりに努める。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	2
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	2
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	2
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

令和3年度予定	
令和2年度の会計年度任用職員制度の導入に合わせて、「両立支援ハンドブック」を改訂し、周知を行った。それに伴い、育児短時間勤務等の制度利用は進んだが、男性職員の育児休業取得には繋がっていない。今後、育児休業制度の改正にあわせて、所属長や人事担当課から取得の働きかけを進める。	予算額
	-
	目標値
	男性15% 女性100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	1 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
延長保育実施箇所数	福祉課	7箇所	10箇所

第2次計画: H29, H30
第3次計画: H31, R2
目標: 10

事業の概要

開所時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育の拡充に努めます。

令和2年度実績	
延長保育事業(保育時間を超えた1時間延長)を7施設で実施し保育ニーズに対応しました。 ・宇和島済美保育園 ・丸穂保育園 ・立正保育園 ・石丸保育園 ・尾串保育園 ・認定こども園元気の泉 ・みゆき保育園	決算額
	12,250千円
	実績値
	7箇所
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等
当該事業を実施していない吉田地区・三間地区・津島地区において実施体制を整える必要があると考えています。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

令和3年度予定	
令和2年度と同じく、旧宇和島市内における7施設で実施します。 (吉田地区・三間地区・津島地区への拡充については、施設等整備計画と整合性を図りながら検討してまいります。)	予算額
	11,655千円
	目標値
	7箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
休日保育実施箇所数	福祉課	1箇所	1箇所
<p>事業の概要</p> <p>保護者の日曜・祝日の勤務などの理由によって保育ができない場合の対応を行います。</p>			
令和2年度実績			
休日保育事業を法人保育園1施設(丸穂保育園)において実施し、必要なニーズに対応しました。			決算額
			-
			実績値
			1箇所
			進捗状況
			5
事業に対する評価・課題等			
ニーズ量から判断しても、運営維持(1施設)は必要と考えます。			
男女共同参画の視点での評価			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			4
令和3年度予定			
令和2年度と同じく、旧宇和島市内における1施設で実施します。			予算額
			-
			目標値
			1箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向及び具体的施策	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
病児保育実施箇所数	福祉課	1箇所	2箇所

第2次計画: H29, H30
第3次計画: H31, R2, 目標

事業の概要

就労等の理由により、病気を発症している子どもの保育が困難な場合に、一時的に保育に対応する病児保育を行います。

令和2年度実績	
医療法人桑折小児科が運営する乳幼児デイケアトロイメライにおいて、病児保育事業を実施しました。	決算額
	10,867千円
	実績値
	1箇所
	進捗状況
	1

事業に対する評価・課題等
キャンセル率が高く、受入れに支障を来している状況の改善等(ルール遵守等の啓発)が必要であるほか、病児保育事業実施施設数や定員数の拡充を望む意見があるため、拡充の検討が求められています。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

令和3年度予定	
令和2年度と同じく1施設で実施します。	予算額
	10,703千円
	目標値
	1箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(H39)
学童保育実施箇所数	生涯学習課	11箇所	13箇所

第2次計画: H29 (11), H30 (11)
第3次計画: H31 (11), R2 (11), 目標 (13)

事業の概要

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休暇中に保育所や学校の余裕教室で適切な遊び及び生活場を提供する。

令和2年度実績	
11箇所の放課後児童クラブの運営を行った。 ・石丸ルーム(石丸保育園) ・済美ルーム(済美保育園) ・元気の泉学童ルーム(元気の泉保育園) ・番城放課後児童クラブ1(番城美徳認定こども園) ・鶴島放課後児童クラブ(鶴島小学校内) ・津島放課後児童クラブ(岩松幼稚園内)	決算額
	104,114千円
	実績値
	11箇所
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等
児童数の減少に反し、女性の社会進出により学童保育に対する利用意向が高い。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

令和3年度予定	
児童数の減少が予想されるが、学童保育の利用者の利便性に配慮する必要がある、地域の実情に応じたサービスの需要と供給の適正なバランスも図りながら、「新放課後子どもプラン」の推進を検討するために生涯学習課に移管した。	予算額
	97,583千円
	目標値
	11箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向及び具体的施策	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
一時預かり実施箇所数	福祉課	9箇所	10箇所

事業の概要				
<p>第2次計画 第3次計画</p> <p>15 10 5 0</p> <p>H29 H30 H31 R2 目標</p> <p>6 6 9 10 10</p>				
<p>保育所等を利用していない家庭において、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合に対応するため、保育所、幼稚園、認定こども園その他の場所において児童を一時的に預かる事業を行います。</p>				

令和2年度実績	
公立認定こども園2施設(番城美德認定こども園、三間認定こども園)、私立保育所5施設(宇和島済美保育園・丸穂保育園・立正保育園・石丸保育園・尾串保育園)、私立幼稚園1施設(鶴城幼稚園)、私立認定こども園2施設(認定こども園元気の泉、認定こども園いぶき幼稚園)において実施し、ニーズに対応しました。	決算額
	24,650千円
	実績値
	10箇所
	進捗状況
	5

事業に対する評価・課題等
令和2年度より、三間地区において三間認定こども園が新たに事業に参入しました。 当該事業を実施していない吉田地区・津島地区において実施体制を整える必要があると考えています。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

令和3年度予定	
令和2年度と同じく10施設で実施します。	予算額
	23,868千円
	目標値
	10箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向及び具体的施策	1 安心して子どもが育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
放課後子ども教室数	生涯学習課	13箇所	15箇所

年度	数値
H29	11
H30	12
H31	13
R2	13
目標	15

事業の概要

放課後に小学校の余裕教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境作りを推進する。

令和2年度実績				決算額
【天神放課後子ども教室】	実施日数: 0日	【和霊放課後子ども教室】	実施日数: 0日	15,089千円
【高光放課後子ども教室】	実施日数: 188日	【住吉放課後子ども教室】	実施日数: 194日	実績値
【三間放課後子ども教室】	実施日数: 203日	【二名放課後子ども教室】	実施日数: 201日	13箇所
【成妙放課後子ども教室】	実施日数: 200日	【畑地放課後子ども教室】	実施日数: 187日	進捗状況
【宇和津放課後子ども教室】	実施日数: 191日	【清満放課後子ども教室】	実施日数: 194日	2
【北灘放課後子ども教室】	実施日数: 181日	【美沼子ども教室】	実施日数: 86日	
【宇和島子ども教室】	実施日数: 38日			

事業に対する評価・課題等

合計13箇所を実施している。
 学校日の開催を基本としている9教室については、学童保育のニーズの高い地域における児童クラブを補完する形での放課後対策事業として一定の評価ができる。長期休業期間等の学校休業日への対応については、平成25年度に美沼子ども教室(三間地区対象)を、平成31年度に宇和島子ども教室を開設した。
 R2年度はコロナウイルス感染症の影響により、天神・和霊子ども教室の実施ができなかった。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

令和3年度予定				予算額
【天神放課後子ども教室】	実施日数: 8日	【和霊放課後子ども教室】	実施日数: 8日	16,449千円
【高光放課後子ども教室】	実施日数: 187日	【住吉放課後子ども教室】	実施日数: 187日	目標値
【三間放課後子ども教室】	実施日数: 187日	【二名放課後子ども教室】	実施日数: 187日	13箇所
【成妙放課後子ども教室】	実施日数: 187日	【畑地放課後子ども教室】	実施日数: 187日	
【宇和津放課後子ども教室】	実施日数: 187日	【清満放課後子ども教室】	実施日数: 187日	
【北灘放課後子ども教室】	実施日数: 187日	【美沼子ども教室】	実施日数: 93日	
【宇和島子ども教室】	実施日数: 43日			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向及び具体的施策	1 安心して子どもが育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(H39)
放課後子ども教室登録児童数	生涯学習課	325人	400人

事業の概要	
放課後に小学校の余裕教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。	

令和2年度実績		決算額
【天神放課後子ども教室】 登録制ではない	【和霊放課後子ども教室】 登録制ではない	15,089千円
【高光放課後子ども教室】 33人	【住吉放課後子ども教室】 70人	実績値
【三間放課後子ども教室】 75人	【二名放課後子ども教室】 42人	358人
【成妙放課後子ども教室】 20人	【畑地放課後子ども教室】 13人	進捗状況
【宇和津放課後子ども教室】 64人	【清満放課後子ども教室】 21人	4
【北灘放課後子ども教室】 20人	【美沼子ども教室】 三間・二名・成妙の登録者	
【宇和島子ども教室】 高光・住吉・宇和津の登録者		

事業に対する評価・課題等

登録制でない天神・和霊、各地区の登録者が自動的に登録される美沼子ども教室・宇和島子ども教室を除いて、登録者は358人。学校日の開催を基本としている7教室については、学童保育のニーズの高い地域における児童クラブを補完する形での放課後対策事業として一定の評価ができる。長期休業期間等の学校休業日への対応については、平成25年度に美沼子ども教室(三間地区対象)を、平成31年度に宇和島子ども教室を開設した。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

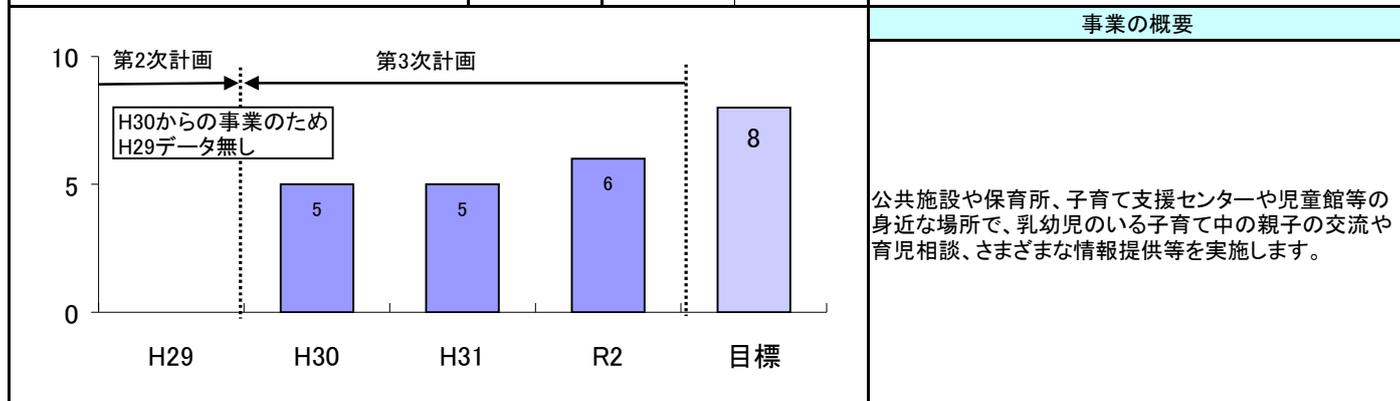
令和3年度予定		予算額
【天神放課後子ども教室】 登録制ではない	【和霊放課後子ども教室】 登録制ではない	16,449千円
【高光放課後子ども教室】 33人	【住吉放課後子ども教室】 70人	目標値
【三間放課後子ども教室】 75人	【二名放課後子ども教室】 42人	358人
【成妙放課後子ども教室】 20人	【畑地放課後子ども教室】 13人	
【宇和津放課後子ども教室】 64人	【清満放課後子ども教室】 21人	
【北灘放課後子ども教室】 20人	【美沼子ども教室】 三間・二名・成妙の登録者	
【宇和島子ども教室】 高光・住吉・宇和津の登録者		

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
地域子育て支援拠点施設設置箇所数	福祉課	5箇所	8箇所



令和2年度実績	
地域子育て支援拠点事業を法人保育園5園及び法人認定こども園1園で実施するとともに、他の保育所や公民館などでも対応できる体制が整っています。 ・宇和島済美保育園 ・立正保育園 ・尾串保育園 ・石丸保育園 ・丸穂保育園 ・認定こども園元気の泉	決算額
	49,620千円
	実績値
	6箇所
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

令和2年度より、丸穂保育園が新たに事業に参加しました。
 当該事業を実施していない吉田地区・三間地区・津島地区において、類似の子育て支援事業も含めた整備検討が必要と考えています。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

令和3年度予定	
令和2年度と同じく6施設で実施します。	予算額
	50,388千円
	目標値
	6箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)	
推進方策	3 安心して子育てが出来る環境の整備	
施策の方向及び具体的施策	1 安心して子どもを育てられる環境整備	[4] 育児支援サービスの充実・利用促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H31)	目標値(R9)
ファミリー・サポート・センター利用会員登録者数	福祉課	419人	500人

第2次計画 | 第3次計画

H29 | H30 (398) | H31 (419) | R2 (429) | 目標 (500)

H30からの事業のため
H29データ無し

事業の概要

子育ての手助けをしてほしい人(利用会員)と子育てのお手伝いをしたい人(サポート会員)が会員となり、利用会員が仕事や用事により子どもの世話ができないとき、サポート会員が保育施設等への送迎や預かりを行う。

令和2年度実績	
利用会員 299名 サポート会員 108名 両方会員22名 計429名(令和3年3月31日現在) サービスを円滑に提供するため、会員間を対象とした講習、研修等を実施した サポート会員養成講習会 8回 レベルアップ学習会 1回 子育てセミナーへの参加 3回	決算額
	2,753千円
	実績値
	429人
	進捗状況
	3

事業に対する評価・課題等	
サポート会員の高齢化に伴う人材の確保 新型コロナウイルス拡散防止対策を考慮したイベントの実施	

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

令和3年度予定	
サポート会員養成講習会 12回 会員間の交流会 1回 レベルアップ学習会 1回	予算額
	3,318千円
	目標値
	430人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-